

の相談室?

秘密厳守
~お気軽にご相談ください~

消費生活相談

▶月曜日 日生住民センター
▶水・金曜日 役場消費生活相談コーナー いずれも10:00~12:00、13:00~16:00
◇多重債務や悪質商法などのトラブル防止

☎ 766 - 1110
消費生活相談コーナー

法律相談

▶22日(月)13:30~16:30 日生住民センター(電話受付15日8:45~、先着6人)
◇相続・離婚など民事トラブルについて、弁護士による相談(1人30分間)

行政相談

▶22日(月)13:30~16:00 日生住民センター
◇普段の生活で困っていることや、行政への意見・要望などに対するのアドバイスや相談窓口の紹介など

☎ 766 - 8707
企画政策課広報戦略室

農業者年金相談

▶1日(月)10:00~12:00 役場相談室
◇農業者年金の加入・受給に関すること

農地流動化相談

▶8日(月)、15日(月)10:00~12:00 役場相談室
◇農業経営規模拡大や農地の貸し借りなど

☎ 766 - 8709
農業環境課

母子父子相談

▶来庁相談(完全予約制) 役場相談室または宝塚健康福祉事務所
▶電話相談(随時可) いずれも9:00~17:00(阪神北泉民局 ☎ 0797 - 61 - 5176)
◇県母子父子自立支援員による相談

児童相談

▶電話・来庁 月~金 9:00~17:00 役場相談室
◇家庭児童相談員による18歳未満の子どもに関する相談

DV相談

▶電話・来庁 月~金 9:00~17:00 役場相談室
◇家庭児童相談員による配偶者などからの暴力に関する相談

☎ 767 - 7477
こども課

障がい者・児相談

▶常時8:45~17:30 ゆうあいセンター
◇障がい者(児)の生活と就労に関する相談・支援

☎ 766 - 5444
障害者相談支援センター

教育相談

▶来所相談(要予約) 火~金 9:00~17:00
▶電話相談 月~金 9:00~17:00
◇学校・日常生活や学業・進路・心身の悩みなど

☎ 765 - 2065
教育支援センター

心配ごと相談

▶9日(火)日生住民センター
▶16日(火)ふらっと六瀬
▶23日(火)ゆうあいセンター いずれも10:00~12:00
◇民生委員による生活全般の困りごと相談

☎ 764 - 5814
民生委員・児童委員協議会

障がい者相談

▶25日(木)13:30~15:30 障害者福祉センター
◇当事者団体の相談員による身体・知的・精神障がい者の相談

☎ 766 - 8701
福祉課

人権相談

▶電話相談 みんなの人権110番(☎0570-003-110)
◇日常生活でのいやがらせ、いじめ、虐待、DV、不当な差別など(法務省人権擁護委員による相談)

☎ 768 - 0217
人権推進室

高齢者福祉相談

▶常時8:45~17:30 ゆうあいセンター(随時訪問相談可)
◇介護・高齢者福祉に関する相談

成年後見相談

▶19日(金)10:00~12:00(15日までに申し込み)
◇成年後見制度に関する相談(1人60分間)

☎ 764 - 5812
地域包括支援センター

Consultation Desk For Foreign Residents (外国人生活支援相談)

▶Monday~Thursday 9:00~16:00. Provide consultation for your daily life. (Please contact us before coming to the office.)

☎ 766 - 8711・FAX766 - 8902 Planning and Policy Division

ときめき

瞬

「今」この瞬間「輝いている」
「あなたを応援します」

感動を届けるアナウンサーを目指して

この一年間はコロナ禍により、たくさんの人にとって激動の年となりました。外出自粛などが呼び掛けられる中、僕も自宅に1人で過ごす時間が増え、将来やりたい仕事のことを考えるようになりました。

それまでは、もともとテレビが好きだったので、何となく「テレビ関係の仕事に就けたらいいな」と考えていたのですが、ニュースからバラエティ番組まで幅広く活躍するアナウンサーを見て、「アナウンサーになりたい!」と思うようになりました。

そこで、半年ほど前からアナウンススクールに通い始めました。講座では、発声の練習のほか、



高校の時は陸上部で競歩をやっていました!

人とのコミュニケーションの方法やテーマに対して即興で話をする練習なども行っています。

この中で特に難しいのが「即興で話をする」ことです。事前に色々な勉強をし、知識や経験の「引き出し」をたくさん持つていないとできません。そのため、これまで経験したことのないことにも積極的に挑戦するようにしています。その中の1つが、バン格拉デシユの方にオンラインで日本語を教えるボランティアです。



オンラインでのアナウンススクール

バン格拉デシユのことは何も知りませんでした。ですが、日本語を教えるながらコミュニケーションを取り、バン格拉デシユには働き口が少なく、日本での就労を目指す若者やITに関心を持つ人が多いため、僕にとっては新しい

い発見になりました。また、このボランティアで人に何かを伝えることの難しさもわかり、伝える工夫を考えるようにもなりました。

こうして増やした「引き出し」を必要ないタイミンで伝える瞬発力も大切です。スポーツの実況では、競技の様子を伝えながら、選手のデータや背景などの情報を織り交ぜることで、選手の活躍を際立たせ、見ている人がその競技により関心を持ち、楽しんでもらうきっかけにもなります。

今年の箱根駅伝では、準優勝の大学の選手に実況のアナウンサーが送った一言が話題になりました。選手の心情を代弁し、視聴者に代わって選手を労った言葉が感動を呼び、テレビを見た人にとって「記憶に残るレース」になったのではないのでしょうか。

今年も成人となり、インターンシップも始まる大事な一年になります。応援してくれる両親のためにも、僕も人に感動を伝えることができるようアナウンサーを目指して、頑張りたいと思います。



成人式後に自宅前で両親と

能地 優さん
(20歳・白金)



白金小学校→猪名川中学校→川西緑台高校→関西外国語大学

「瞬」の掲載希望者・団体を随時募集中です。

※詳細は町ホームページ募集情報より

▶申込・問合せ 企画政策課広報戦略室 (☎766-8707)

